

8/20
(日)

14:00～15:30

開場 13:30



9/9
(土)

14:00～15:30

開場 13:45



講演会

発見！医文学の愉しさ —なぜ医学を書くか

医療、健康に関する小説を多く執筆している福井市出身の作家・山崎光夫氏に、これまでの執筆活動や福井の思い出についてお話しいたします。

講師：山崎光夫氏
(作家)

会場：県立図書館
多目的ホール

定員：150名(要申込)

参加費：無料

来場者全員に山崎光夫氏の著作本をプレゼントします

文学カフェ

かこさとし 創作の原点

かこさとし氏の仕事を近くで支えてきた長女の鈴木万里氏に、作品の魅力やそこに込められたメッセージを語っていただきます。

講師：鈴木万里氏
(かこさとし氏長女)

会場：県立図書館
研修室

定員：30名(要申込)

参加費：250円(飲み物代)

講師プロフィール

1947年福井県福井市生まれ。作家。早稲田大学教育学部卒。テレビ番組の構成、雑誌記者などを経て、1985年「安楽処方箋」で小説現代新人賞を受賞。1986年「サイレント・サウスポー」「詐病」、1987年「ジェンナーの遺言」が直木賞候補となる。1998年『藪の中の家』で新田次郎文学賞受賞。医学を題材にした作品を多く執筆している。



かこさとし氏プロフィール

1926年国高村生まれ。8歳まで武生町で過ごす(ともに現越前市)東京大学工学部卒業。工学博士。技術士(化学)。1959年『ダムのおじさんたち』で絵本作家デビュー。著作に『からすのパンやさん』を代表とする「かこさとしおはなしのほん」シリーズ、「だるまちゃん」シリーズ、「かこさとしからだの本」シリーズ、『かわ』、『伝承遊び考』など600点余。近著に越前市のコウノトリを描いた『コウノトリのコウちゃん』がある。2008年菊池寛賞、2009年日本化学会特別功労賞など受賞多数。



福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE
ふるさと文学館

お申込み・お問合せ
福井市下馬町51-11 福井県立図書館内
TEL: 0776-33-8866
E-mail: bungakukan@pref.fukui.lg.jp

参加される行事に○をお付けください

() 8/20 山崎光夫氏講演会

ご氏名 _____

() 9/9 文学カフェ(コーヒー or 紅茶)

電話番号 _____